

宗教学の諸分野の形成

全9巻

島蘭 進 監修
島蘭 進・高橋 原・星野靖二 編集



シリーズ日本の宗教学⑥ クレス出版

宗教学の諸分野の形成

東京大学大学院人文社会系研究科教授

島 蘭 進

一九〇五年に日本で最初の宗教学講座が東京帝国大学に設置された。一九一一年には西田幾多郎の『善の研究』が刊行されるが、これは日本独自の宗教学の基礎を築いた名著である。一方、宗教の歴史的研究に力を入れた姉崎正治の名著といふべき『法華經の行者日蓮』は、一九一三年にアメリカのハーバード大学でなされた講義がもとになっており、日本では一九一六年に刊行された。一九一〇年前後には、宗教学が日本に根を降ろしたと言つてよいだろう。

日本の宗教学の第一世代によつてこうして力強く形成されてきた基礎を踏まえて、第二世代の学者達によつて宗教学は多方面に展開し、今日見られるような宗教学のパノラマがおおよそ形を現してくる。大正時代から昭和初期、一九一〇年代から三〇年代にかけての時期である。この選集では、この時期に、日本の宗教研究が諸方面に分化し、宗教学の諸分野が形成されてくる様子が見えてくるような書物を選んで復刻している。

一九世紀の末頃から、欧米では学問の専門分化が急速に進んでいき、宗教をめぐる知識もその影響を強く受けるようになる。「宗教学」を名乗る書物はすでに一九〇〇年頃から刊行されていたが、「宗教心理学」「宗教民族学」と銘打った書物が刊行されるのは、一九一〇年代以降である。また、マルクス主義や社会学の影響が強まり、政治的機能の側面や社会現象としての側面から宗教をとらえようとする視点も強まってくる。

宗教学を身近な伝統文化や生活文化から考えようとする研究領域も、この時期に形成されてくる。まずは国内の教派神道がよき素材となった。同時期に柳田国男らによる日本民俗学がはなばなしの展開を見せており、日本の民俗宗教研究も脚光を浴びつつあった。やがて朝鮮、東南アジア、太平洋地域などの宗教文化への調査研究が育っていく。

シリーズ日本の宗教学の①から③において取り上げた諸家の他、この時期にはキリスト教や仏教を背景にもつ著者による重要な著作も数多く刊行されているが、それらはすでに全集や復刻により読みやすい形で図書館に所蔵されているものが多い。この選集では比較研究や経験科学的研究など、宗教学の特徴がとくに顕著に現れている著作を中心に取上げていく。また、政治状況との関わりがよく見える側面にも注意を向けている。

二一世紀の日本の宗教学や関連諸学の自己省察のために、本選集が縦横に活用していただけることを願っている。

第1巻 宗教心理学・宗教哲学(1)

宗教心理学の研究
石神徳門著／大正元年／六合館
増補 宗教と哲学
松本文三郎著／大正3年／丙午出版社

第2巻 宗教哲学(2)

宗教哲学概論
帆足理一郎著／大正14年／博文館

第3巻 宗教学

宗教学概論
佐野勝也著／大正13年／大村書店

第4巻 宗教民族学

宗教民族学
宇野円空著／昭和24年／創元社

第5巻 宗教理論

輓近宗教学説の研究
赤松智城著／昭和4年／同文館

第6巻 宗教問題

御大典記念 日本宗教大会紀要
日本宗教懇話会編／昭和3年

第7巻 マルクス主義的宗教

反宗教闘争の旗の下に
反宗教闘争同盟準備会編／昭和6年／共生閣
〔内容〕 農民と宗教（佐野袈裟美） ソビエト同盟に於ける反宗教運動について（秋田雨雀） ソビエト映画に於ける反宗教闘争（山内光） 本願寺教団の階級性（西田繁） 国家と宗教（松岡松平） 宗門経営の分析（服部之総） 我が国に於ける宗教的建築の変遷とその階級性（遠地輝武） 宗教は如何に支配階級に奉仕するか（深谷進） 自然科学と宗教（林謙吉） 宗教、観念論、唯物論（永田広志） カトリック教批判（大塩健） 理論的演習より実践的闘争へ（真溪蒼空朗） 転換期に立つ宗教家（原黎雄） 反宗教運動の自由について（布施辰治） 反宗教闘争の現段階的意義（川内唯彦） 反宗教運動について（山内彦一） 宗教の唯物弁証法的把握と反宗教闘争（秋沢修）

宗教学説

佐木秋夫著／昭和12年／三笠書房

第8巻 反宗教運動批判

マルキシズムと宗教

中外日報東京支局編／昭和5年／大鳳閣書房
〔内容〕 歴史の現段階に於ける宗教の地位、寺院と社会との交渉及没交渉（長谷川如是閑） 文芸と宗教とプロレタリア運動 如何に宗教を批判するか、宗教闘争と階級闘争（三木清） 三木清氏の宗教学（服部之総） マルクスの論難に宗教は如何に對立するか、宗教を語る言葉と立場（宇野円空） 仏教から見たマルキシズム（二木保幾） 唯物弁証法と空観弁証法（服部之総） 宗教の急所は何処にあるか（小林多喜二） 日本に於ける宗教とプロレタリア、宗教批判の後の問題（本荘可定） マルクス主義の宗教学論（古野清人） マルクシズムと宗教徒（三枝博音） マルクストに宗教生活を語る（倉田百三） スローガン宗祖に帰れとは、偏見と反省（三浦参玄洞） 揚げた聖幕（早坂二郎） 挿話に即しながら（細田源吉） 宗教婦人団体の批判其他（神近市子） 模造聖人の謔言（大宅壮一） マルクシズムと宗教座談会

宗教至上

生田長江著／昭和7年／新潮社

転換期の宗教

宇野円空著／昭和13年／有光社

第9巻 新宗教研究

教派神道の発生過程

中山慶一著／昭和7年／森山書店

教派神道の研究

鶴藤幾太著／昭和14年／大興社

解説

第二章 神の實在に關する證明

第一節 神の實在の證明に對する要求

前述の形而上學的考察によれば、宇宙の本源が一であるか多であるか、物力であるか精神力であるか、何れとも決定するだけの強い論據は見當らないことを示してゐる。又宇宙の生成は偶然であるか、目的であるか、又機械的であるか、創造的であるかも、俄に決定することはできまい。只宇宙の本源なる超經驗的領域にまで遡らないで、現在の宇宙を深刻に觀察する場合、それは單なる唯物論的のものでないことは明かだ。現在の宇宙は意識的要素の加つてゐる靈的精神的のものである。従つてそれは機械的に數學的に因果關係の嚴正なる法則にのみ支配されてゐるものとは思へない。吾等は物的なることと、心的なることとの本質的區別に於て、一は因果律を手繰つて其將來を豫見し、其事實的表現を自由に反復しうるものであると見、他は其發動の根原に第一次的原因たる創意の働いてゐることを假定し、其事實的表現は反復不可能なる一回的現象であり、且つ其將來は豫見し難いものであると見る。故に、意識的であり創造

第5巻 輓近宗教学説の研究

三 宗教心理学説

一般に宗教の心理學的研究は第十八世紀に至るまでは殆どこれを試みたものはなかつたのであるが、茲に謂ふところの宗教心理学説は實はさきの宗教人類學説よりも更に後に新しく起つたものを指すのであつて、即ちそれは漸く前世紀の終りから經驗的心理學の發達殊に生理的及び變態心理的方面の實驗的研究の進歩に影響されて起り、所謂新心理學(the new psychology)の學者に依て多く考察されるやうになつたものである。而して米英佛瑞獨伊諸國に亘つて夫々注意すべき學者が輩出したが、しかし總じて宗教心理学的研究と概稱される學説の中にも亦た種々の分派の見るべきものがあつて、今その主要なるものを列擧すれば、先づかのジエームスと其他の米國一派の心理學者等に依て代表される宗教の下層意識説及び實驗心理學的研究、ヴェントの提唱した宗教の民族心理學的研究、獨逸の一部の學者の唱道した神學的宗教心理学説並びに近來現はれた宗教の生物心理学説及び機能的心理学説などがある。しかし此等の學説の意義と内容とに就

宗教學の獨立と分派

三

第9巻 教派神道の発生過程

第四章 黒住教概説

一

六二

黒住教は備前御野郡上中野村（今の御津郡今村大字上中野）今村宮神職の黒住宗忠の創唱に係る。今村宮は天照皇大神・春日大神・八幡大神を祭る村社である。宗忠は安永九年宗繁の末子として生れた。幼少より性温厚篤實にして孝心深く、水垢離を取つて父母の長壽を祈つたといふ。二十一歳の頃獨自ら思へらく、天下に名を揚げ世人に尊敬せられ、以て父母を悦ばすは、是れ孝の最大なるものである。而して世人の尊敬するものを見るに神に若くはない。乃ち生きながら神たらんとするの志を起し、其方法に就いて地方の神道家に尋ねるも能く答ふるものがない。依つて自ら深思默慮大いに心を修め氣を養ふ術を講じたが、一日豁然として悟る所あり、「神たらんとするには、神たるの行ひをなすにあり、是れ心に悪しと思ふことは、斷然行はざるを以て要とす」と。以來益々善行を積み、良心を欺かざることに力め、五ヶ條の箴言を設けて坐右の戒とした。曰く
一、信心の家に生れ信心なきこと

宗教学の諸分野の形成 全9巻 シリーズ日本の宗教学⑤

A5判/上製函入/クロス装 揃定価115,000円(税別)
平成19年11月末日刊 ISBN978-4-87733-390-4(セット)

第1巻	宗教心理学・宗教哲学(1)	宗教心理の研究、増補 宗教と哲学	定価11,000円(税別)	391-1
第2巻	宗教哲学(2)	宗教哲学概論	定価19,000円(税別)	392-8
第3巻	宗教学	宗教学概論	定価 9,000円(税別)	393-5
第4巻	宗教民族学	宗教民族学	定価 9,500円(税別)	394-2
第5巻	宗教理論	晩近宗教学説の研究	定価12,000円(税別)	395-9
第6巻	宗教問題	御大典記念 日本宗教大会紀要	定価11,000円(税別)	396-6
第7巻	マルクス主義的宗教	反宗教闘争の旗の下に、宗教学説	定価13,000円(税別)	397-3
第8巻	反宗教運動批判	マルキシズムと宗教、宗教至上、転換期の宗教	定価16,000円(税別)	398-0
第9巻	新宗教研究	教派神道の発生過程、教派神道の研究、解説	定価14,500円(税別)	399-7

既刊 日本人の身・心・霊——近代民間精神療法叢書 全8巻

吉永 進一 編・解説

- ① 精神統一 心理実験、臨床暗示 清水式心理療法
 - ② 心身修養 岡田式静坐法
 - ③ 心身修養 三摩地、身心解脱 耳根円通法秘録
 - ④ 精神霊動
 - ⑤ 心霊治療秘書、リズム学の精華 保健療法の原理
 - ⑥ 幽明の霊的交通、精神統一の心理
 - ⑦ 錬心術、最新精神療法
 - ⑧ 精神治療法、破邪顕正 霊術と霊術家
- 揃定価95,000円(税別) ISBN4-87733-218-9(セット)

既刊 日本人の身・心・霊——近代民間精神療法叢書Ⅱ 全7巻

吉永 進一 編・解説

- ① 動物電気概論、催眠術に於ける 精神の現象
催眠術独習、催眠術の危険、附録資料6点
 - ② 仙家秘訣 無病長生法、内観的研究
 - ③ 岡田式 静坐三年、自働療法
 - ④ 心身修養療法原論、浄我の祈念
 - ⑤ 霊光録、神秘 霊道術講習録、岩田氏本能法教科書
 - ⑥ 霊術講座、三吉式 精神修養法
 - ⑦ 観自在術、心理療法全書
- 揃定価92,000円(税別) ISBN4-87733-241-3(セット)

既刊 催眠術の黎明——近代日本臨床心理の誕生 全7巻

吉永 進一 編・解説

1. 『哲学会雑誌』催眠関係記事、魔睡術
心理応用 魔術と催眠術、催眠術治療法
 2. 感応術及催眠術秘訣、教育上に応用したる 催眠術
 3. 学理応用 催眠術自在、人身磁力催眠術
 4. 催眠術及ブググスチオン論集、心霊療法講演集
 5. 実験精神療法、催眠心理学概論
 6. 小野催眠学
 7. 最新式 実験催眠術講義
- 揃定価90,000円(税別) ISBN4-87733-314-2(セット)

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町14-5 メローナ日本橋
☎03-3808-1821 ☎03-3808-1822 http://www.kress-jp.com/

●書店名

既刊 シリーズ日本の宗教学① 姉崎正治集 全9巻

島蘭 進、磯前研一、高橋 原 監修・解説

第1巻	言語学的宗教学、比較宗教学	定価 8,600円(税別)	ISBN4-87733-161-1
第2巻	復活の曙光	定価11,000円(税別)	ISBN4-87733-162-X
第3巻	国運と信仰	定価12,800円(税別)	ISBN4-87733-163-8
第4巻	樗牛嘲風往復集、停雲集 南北朝問題と国体の大義	定価12,000円(税別)	ISBN4-87733-164-6
第5巻	宗教と教育	定価13,400円(税別)	ISBN4-87733-165-4
第6巻	新時代の宗教	定価 9,200円(税別)	ISBN4-87733-166-2
第7巻	世界文明の新紀元	定価11,000円(税別)	ISBN4-87733-167-0
第8巻	社会の動揺と精神的覚醒	定価 9,000円(税別)	ISBN4-87733-168-9
第9巻	論文集・解説	定価 8,000円(税別)	ISBN4-87733-169-7

A5判/上製函入/クロス装 揃定価95,000円(税込) ISBN4-87733-160-3(セット)

既刊 シリーズ日本の宗教学② 井上哲次郎集 全9巻

島蘭 進、磯前研一、高橋 原 監修・解説

第1巻	西洋哲学講義 卷之一、倫理新説、勅語衍義 倫理と宗教との関係	定価10,000円(税別)	ISBN4-87733-173-5
第2巻	国民道徳概論	定価11,000円(税別)	ISBN4-87733-174-3
第3巻	巽軒論文初集、巽軒論文二集	定価12,000円(税別)	ISBN4-87733-175-1
第4巻	釈迦種族論、釈迦牟尼伝	定価 9,500円(税別)	ISBN4-87733-176-X
第5巻	哲学と宗教	定価18,000円(税別)	ISBN4-87733-177-8
第6巻	日本精神の本質、神道の特長に就いて	定価10,000円(税別)	ISBN4-87733-178-6
第7巻	東洋文化と支那の将来	定価 7,000円(税別)	ISBN4-87733-179-4
第8巻	懐旧録、井上哲次郎自伝	定価10,000円(税別)	ISBN4-87733-180-8
第9巻	論文集・解説	定価10,000円(税別)	ISBN4-87733-181-6

A5判/上製函入/クロス装 揃定価97,500円(税別) ISBN4-87733-172-7(セット)

既刊 シリーズ日本の宗教学③ 加藤玄智集 全9巻

島蘭 進、磯前研一、前川理子、高橋 原 監修・解説

第1巻	宗教新論	定価10,000円(税別)	ISBN4-87733-220-0
第2巻	宗教講話、釈迦牟尼伝、心乃衛生	定価11,000円(税別)	ISBN4-87733-221-9
第3巻	我建国思想の本義、神人乃木將軍	定価11,000円(税別)	ISBN4-87733-222-7
第4巻	真修養と新活動	定価 9,500円(税別)	ISBN4-87733-223-5
第5巻	我が国体と神道、我が国体の特色と敬神の真意義 日本人の国体信念	定価13,000円(税別)	ISBN4-87733-224-3
第6巻	神道精義、太神宮参詣記と敬神尊皇	定価10,500円(税別)	ISBN4-87733-225-1
第7巻	神国民の知と行、学校教育と成層圏の宗教	定価13,000円(税別)	ISBN4-87733-226-X
第8巻	知性と宗教 聖雄信仰の成立	定価 9,000円(税別)	ISBN4-87733-228-6
第9巻	論文集、解説	定価 8,000円(税別)	ISBN4-87733-227-8

A5判/上製函入/クロス装 揃定価95,000円(税別) ISBN4-87733-219-7(セット)

既刊 シリーズ日本の宗教学④ 宗教学の形成過程 全9巻

島蘭 進、高橋 原、星野靖二 監修・解説

第1巻	宗教進化論	定価11,000円(税別)	ISBN4-87733-338-X
第2巻	弥児氏宗教三論、宗教進化論	定価12,500円(税別)	ISBN4-87733-339-8
第3巻	諸教便覧、神道新論、仏道新論 ほか	定価 8,500円(税別)	ISBN4-87733-340-1
第4巻	世界三聖論、科学的宗教 ほか	定価 9,500円(税別)	ISBN4-87733-341-X
第5巻	宗教研究、比較宗教一斑、宗教の比較的研究	定価11,000円(税別)	ISBN4-87733-342-8
第6巻	倫理宗教時論、現今将来 倫理及宗教	定価10,000円(税別)	ISBN4-87733-343-6
第7巻	宗教哲学 ほか	定価13,000円(税別)	ISBN4-87733-344-4
第8巻	信仰問題 ほか	定価 8,500円(税別)	ISBN4-87733-345-2
第9巻	吾人の宗教 ほか、解説	定価11,000円(税別)	ISBN4-87733-346-0

A5判/上製函入/クロス装 揃定価95,000円(税別) ISBN4-87733-337-1(セット)